

InterCLASS[®] Console Support

version 4.0 操作マニュアル(設定編)

はじめに	3
InterCLASS [®] Console Supportの構成	3
動作環境	4
本書の構成と読み方	4
Google Cloud Platform の設定	5
Google Workspace でのGoogle Cloud Platform の有効化	5
Google Cloud Platform の設定	7
ドメイン全体の管理を委任する設定	24
Google Classroom のデータアクセスの許可	27
QRコードログインの設定	29
サードパーティのIDプロバイダを使用したシングルサインオンの設定	29
QRコードログインを適用するChrome デバイスを特定の組織部門に移動	34
Chrome デバイスの設定の変更	37
Chromebook のログイン画面を確認	41
デバイスのレポート設定	42
InterCLASS [®] Console Supportの起動と終了	45
InterCLASS [®] Console Supportの起動と終了 InterCLASS [®] Console Supportへログイン	45 45
InterCLASS [®] Console Supportの起動と終了 InterCLASS [®] Console Supportへログイン InterCLASS [®] Console Supportからログアウト	45 45 47
InterCLASS [®] Console Supportの起動と終了 InterCLASS [®] Console Supportへログイン InterCLASS [®] Console Supportからログアウト システム管理の設定	45 45 47 48
InterCLASS [®] Console Supportの起動と終了 InterCLASS [®] Console Supportへログイン InterCLASS [®] Console Supportからログアウト システム管理の設定	45 45 47 48
InterCLASS [®] Console Supportの起動と終了 InterCLASS [®] Console Supportへログイン InterCLASS [®] Console Supportからログアウト システム管理の設定 システム管理を開く	45 47 47 48 48
InterCLASS [®] Console Supportの起動と終了 InterCLASS [®] Console Supportへログイン InterCLASS [®] Console Supportからログアウト	45 47 48 48 49 50
InterCLASS [®] Console Supportの起動と終了 InterCLASS [®] Console Supportへログイン	45 47 48 48 49 50 52
InterCLASS [®] Console Supportの起動と終了 InterCLASS [®] Console Supportへログイン InterCLASS [®] Console Supportからログアウト システム管理の設定	45 47 48 48 49 50 52 52
InterCLASS [®] Console Supportの起動と終了	45 47 48 48 49 50 52 52 53
InterCLASS [®] Console Supportの起動と終了	45 47 48 48 50 50 52 52 53 53
InterCLASS [®] Console Supportの起動と終了	45 47 48 48 50 52 52 53 56 59
InterCLASS [®] Console Supportの起動と終了	45 47 48 48 50 50 52 52 53 56 59 61

はじめに

InterCLASS[®] Console Supportをご導入いただき、ありがとうございます。 InterCLASS[®] Console SupportはGoogle管理コンソールのユーザー管理機能を拡張し、学校でのユーザー管理業務を効率化するためのGoogle Workspace Marketplace アプリです。本書をよくお読みのうえ、Googleアカウントの運用管理の効率化にお役立てください。

InterCLASS[®] Console Supportの構成

InterCLASS[®] Console Support上で必要な管理権限を割り当てられた管理者は、 InterCLASS[®] Console Supportの操作画面を通じてユーザーやグループの管理、 Google Classroom の管理ができます。



動作環境

導入前に、あらかじめ以下の動作環境を確認してください。

必要環境

- Google Workspace for Education の利用承認を受けている教育機関である こと
- Google 管理コンソールによりお客様のドメインにユーザーが追加され、組織部門が 適切に設定されていること
- Chrome Education Upgrade が導入済みであり、学習者用のChromebook がGoogle 管理コンソールに登録されていること

管理画面を使用するコンピュータ

- OS : Windows 10 Pro, Education, Enterprise(32bit版および64bit版) / 11 Pro, Enterprise Mac OS 10.14(sierra)以上 最新のChrome OS
- アプリ : Google Chrome v104以上
- **メモリ**: 4GB以上
- その他: Wi-Fi, Ethernet機能またはLTE通信機能を有すること インターネットに接続されていること

本書の構成と読み方

本書では、InterCLASS[®] Console Supportの導入と運用にあたり、特権管理者が行う Google管理コンソールの設定とInterCLASS[®] Console Supportの設定について記 載しています。管理者権限が割り当てられた学校管理者によるユーザー・グループ等の運用 管理方法については、別冊「InterCLASS[®] Console Support 操作マニュアル」をご参 照ください。

Google Cloud Platform の設定

ドメイン管理者以外のユーザーのご利用には、Google Cloud Platform のご契約とサー ビスアカウントの発行が必要です。本サービスにおいて、お客様に課金が発生するサービス の利用は求められません。Google 管理コンソールからGoogle Cloud Platform を有 効化し、Google Cloud Platform でサービスアカウントを発行します。

⚠注意

 2021年9月以降、Google Workspace for Education では、一部のGoogle サービスで年齢に基づくアクセス制御が追加され、規定の設定になっています。 Google Cloud Platform も既定の設定では規制されるサービスに含まれるため、 事前に設定変更が必要です。詳しくは下記の管理者ヘルプをご参照ください。

Google サービスへのアクセスを年齢で制御する https://support.google.com/a/answer/10651918

Google Workspace でのGoogle Cloud Platform の有効化

- 1. Google 管理コンソール(<u>https://admin.google.com</u>)へアクセスします。
- 2. メニューからアプリ>その他のGoogleサービスをクリックします。



3. Google Cloud Platform をクリックします。

= 💽 Admin	Q、 ユーザー、グループ、設定を検索				
▲ ホーム	アプリ > その他の Google サービス				
聞 ダッシュボード ・ 名 ディレクトリ	G その他の Google サービス		すべての細胞部門で、違加サービスへのアグセス(風別のコントロールなし)が有効になっています		
• 🖸 デバイス			すべての組織部門でアプリのステータスを表示	しています 😧	
	このアカウントのすべてのユーザー			サービスのステータス	
Google Workspace	グループ	~	Google Cloud Platform	77	
その他の Google サービス	組織部門	^	Google Developers	オン (一部のユーザー)	
ウェブアプリとモバイルアプ リ	組織部門を検索		🔲 🚽 Google Domains	77	

4. Google Cloud Platform の設定画面でサービスのステータスをクリックします。



5. サービスのステータス画面で特権管理者が所属する任意の組織部門を選択し、サービ スのステータスをオンにし、オーバーライド(または保存)をクリックします。

	サービスのステータス	^
-	サービスのステータス ()オン	
~	総示 〇 オフ	
^	オーバーライドすると、親祖強部門から経承された設定が無効になります。 大部分の変更は蘇分で反映されます。詳細	
	4	キャンセルオーバーライ
	- - -	サービスのステータス サービスのステータス マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ

6. Google Cloud Platform の設定画面に戻り、プロジェクト作成の設定をクリック します。



7. Cloud Resource Manager API の設定画面のユーザーにプロジェクトの作成 を許可するにチェックを入れ、保存をクリックします。

Cloud Resource Manager APIの設定 Cloud Resource Manager APIの設定 プロジェクト作成の設定 ジューザーにプロジェクトの作成を許可する ジェンル市営食食会」で適用しまい	~
ユーザー v プロジェクト作成の設定 (アエルや教育会会は) て渡用しまい	
グループ アエル市教育委員会」で適用しまし	
(1) 大部分の変更は数分で反映されます。詳細	
- 以前の変更は整重ログで確認できます 組織的作う へ	

Google Cloud Platform の設定

- Chrome ウェブブラウザでGoogle Cloud Platform (<u>https://console.cloud.google.com</u>)にアクセスします。
- 2. 初回アクセスの場合以下のような画面が表示されます。利用規約にチェックをいれ、 同意して続行をクリックします。

Google Cloud	
チェル特権管理者 へようこそ Google Cloud のインスタンス、ディスク、ネットワークなどのリソースを1か所1 し、管理します。	で作成
チエル特権管理者 admin@chieru-edu.com アカウントを切り替え	-3
3	
日本	•
 利用規約 ♪ hogle Cloud Platform の利用規約 Cおよび適用されるサービスとA 利用規約に同意します。 #新情報に関する通知メール ② hogle Cloud か Google Cloud パートナーから、ニュース、プロダインの Source Tayle (1) ○ から前に続く、スペシャル オファーに関するメールを定期的に受信すとを希望します。 	<u>P</u> Iの クト るこ
	:続行

3. ページ最上部トップバーのGoogle Cloud 表記の右側にあるプロジェクトの選択を クリックします。



4. リソースを選択ダイアログの新しいプロジェクトをクリックします。

リソースを選択			新しいプロジェクト	:
組織なし ▼				
Q <u>プロジェクトとフォ</u>	ルダを検索			
最近のプロジェクト	スター付き	すべて		
名前			ID	
1 組織なし			0	

5. 新しいプロジェクト画面のプロジェクト名に任意の名称を入れ、作成ボタンをクリック します。

≡ Google Cloud
新しいプロジェクト
 プロジェクト名* My Project 500
プロジェクト ID: strong-minutia-391003。 後で変更することはできません。 編集
√組織*
プロジェクトに関連付ける組織を選択します。この選択を後で変更することはできません。
⟨場所★ 参照
親組織またはフォルダ
作成キャンセル

6. プロジェクトの作成が終了すると以下のような通知が届きます。プロジェクトを選択 をクリックし、プロジェクトのダッシュボードに移動します。

通知	
🖉 プロジェクト「My Project 16325」を作成	19 時間前
プロジェクトを選択	

7. メニューからAPI とサービス>ライブラリをクリックします。



8. API ライブラリ画面のAPI とサービスの検索ボックスに「Admin SDK API」と入力します。



9. 検索結果に表示されたAdmin SDK API をクリックし、有効にするボタンをクリック します。

MPI API ライブラリ	Q, Admin SDK API X
API ライブラリ 🔸 "Admin SDK AP	·
〒 フィルタ フィルタテキスト 入力	 8 3件の結果
公開設定 23時	Admin SDK API Google With the Admin ERK API coople c
\mathbf{O}	Admin SDK API
0	Admin SDK API Google Manage Google Workspace account resources and audit usage

10.手順8.9と同じ操作で「Google Classroom API」を検索し、有効にするボタンを クリックします。



11. 手順8.9と同じ操作で「Chorme Management API」を検索し、有効にするボタ ンをクリックします。

MPI APIライブラリ	J		Q, chrome management api	×
APIライブラリ > "chro	me management api"			
マライルタ フイル トを入 公開設定 公開	タテキス 力 (1) (1)	Chrome Management API Google The Chrome Management API is a suite of a and Chrome Browser devices.	envices that allows Chrome administrators to view, manage and :	pain insights on their Chrome OS
	Chrome	Manageme	ent API	
۲ a	The Chrome M administrators	lanagement API s to view, manage	is a suite of services the	nat allows Chrome
	有効にする	この API を試す	Ľ	

12.ヘッダーのプルダウンリストをクリックします。



13.リソースを選択ダイアログから組織のドメイン名をクリックします。組織のドメイン名が表示されていない場合、項番18.に進んでください。

リソースを選択	新しいプロジェクト
.com 🔻	
Q プロジェクトとフォルダを検索	
最近のプロジェクト スター付き すべて	
名前	
✓ ☆ ≫	
☆ 🌬	
☆ 弛	
☆ 🌬	
	キャンセル

14.メニュー>IAM と管理>IAM をクリックします。

52	Cloud の概要		>	IAM
::	ソリューション		>	PAM プリンシパル アクセヌ境界
固定さ	されたプロダクト		/	ID と組織 ポリシーに関するト <mark>ラ</mark> ブルシューティング
API	API とサービス		>	ポリシー アナライザ <mark>新規</mark>
53	課金	ŧ.		組織のポリシー
θ	IAM と管理		>	サーヒス アカワント Workload Identity 連携

15.プリンシパル別に表示タブ内に管理者ユーザーが存在するか確認します。

a. 管理者ユーザーが存在する場合

i. 編集アイコンをクリックし、ロールを割り当てる画面を開きます。

プリンシパル	別に表示ロール別に表示						
★ * アクセスを許可 - ★ アクセス権を削除							
一 フィルタ	プロパティ名または値を入力						
🔲 タイプ	プリンシパル 个	名前	ロール				
□ ≛			プリンシパル アクセス境界ポリシー管理者 組織の管理者 組織ポリシー管理者				

ii. 管理者ユーザーが組織の管理者ロールを保有していない場合、ロールを追加 または別のロールを追加をクリックします。保有している場合、iv.に進みま す。

Г 」(a	「「」に対する権限の編集				
ブリンシバル 🛿	プロジェクト				
ロールを割り当てる ロールは一連の機関で構成され、プリンシバルがこのリソースで実行できることを決定 します。 <u>詳細</u> ご + ロールを追加					
な存 変更をテスト					

iii. フィルタに「組織の管理者」と入力し、表示される以下のロールをクリックします。

-ル - IAM 〒 フィルタ 組織の管理者	の条件(省略可) 🔮
組織の管理者 IAM ポリシーを管理し、組織、フォルダ、プロ: リシーを表示するためのアクセス権。	ジェクトの組織のボ
ロールを管理	

iv. 管理者ユーザーが組織ポリシー管理者ロールを保有していない場合、続けて 別のロールを追加をクリックします。

ロールを割り当てる ロールは一連の権限で構成され、プリンジ します。 <u>詳細</u> ピ	>パルがこのリソースで実行できることを決定
ロール 組織の管理者 ◆	IAM の条件(省略可) ? + IAM の条件を追加
IAM ポリシーを管理し、組織、フォル ダ、プロジェクトの組織のポリシーを 表示するためのアクセス権。	
+ 別のロールを追加	

v. フィルタに「組織ポリシー管理者」と入力し、表示される以下のロールをクリックします。

ロールを割り当てる ロールは一連の権限で構成され、 プリンシバルがこのリソースで実行できることを?	夬定
します。詳細の 「ロール 相極の管理者 ▼ IAM の条件(省略可) ● ↓ IAM の条件を追加 IAM ポリシーを管理し、相称、フォル ダ、プロシェクトの単純のポリシーを 表示するためのクセレス後、	Î
 □ール IAM の条件(音略可) ○ フィルタ 組織ポリシー管理剤 	Î
組織ポリシー管理者 リソースの組織ポリシーを投定する権限。	
()	
ロールを管理	

vi. 2つのロールが割り当てられていることを確認し、保存ボタンをクリックします。

ロールを割り当てる ロールは一連の権限で構成され、プリンシパルがこのリソースで実行できることを決定 します。 詳細 ^[2]					
日ール 組織の管理者 → IAM ポリシーを管理し、組織、フォル ダ、プロジェクトの組織のポリシーを 表示するためのアクセス権。	IAM の条件(省略可) ❷ + IAM の条件を追加				
ロール 組織ボリシー管理者 ▼ リソースの組織ボリシーを設定する権 限。	IAM の条件(省略可) 🤮 十 IAM の条件を追加				
+ 別のロールを追加	Nubell				
	IAM の条件(省略可)				

- b. 管理者となるユーザーが存在しない場合
 - i. アクセス権を許可をクリックします。



ii. 管理者ユーザーのメールアドレスを新しいプリンシパルに入力し、a.のii.~ vi.と同じ手順でロールの割り当てを行います。



13.ヘッダーのプルダウンリストをクリックし、リソースを選択ダイアログでサービスアカウ ントを発行するプロジェクトを選択します。

		スラッシュ (/) を使用してリソース、ド	キュメント、プロダクトなどを検索	Q 検索
ダッシュボード アクティビティ 推奨事項				
	 プロジェクト情報 703よりトキ centrace centrace centrace<th>I -@-AppEngine ⊛H (#80/9)</th><th>i ⊗ Go ≗7 10 10 12</th><th>ogle Clouc ービス正常 ウド ステータ</th>	I -@-AppEngine ⊛H (#80/9)	i ⊗ Go ≗7 10 10 12	ogle Clouc ービス正常 ウド ステータ
	このプロジェクトにユーザーや30歳 	リソースを選択 COM ▼	新しいプロジェクト	* 1
	ב-עי ו	Q, プロジェクトとフォルダを検索		
	 BigGuary データウェアハウス/分析 Southernold Antonio (1997) Antonio (19	最近のプロジェクト スター付き すべて ☆ My First Project	Response William	
	Compute Engine VM. GPU. TPU. 7422		coastin-operation of Party New cold (1998)	
	 マルチクラス、マルチリージョンのオブジェクト・ (…) Cloud Functions イベント駆動型のサーバーレス ファンクション 	My First Project My First Project My First Project Model	proto-proto-2011/20	_
) Cloud Run コンテナ化されたアプリケーションのためのサー/	My First Project My First Project	angle long 2000 any dig 2000	_
	スタートガイド 卵IAPIを採用して有効にする	My First Project My First Project My First Project	Sadda Stree (1980) Sanata and Artista	
	資 成長のソリューションをデブロイ		**	r>ten d

14.メニュー>IAM と管理>組織のポリシーへ移動します。



15.フィルタに「disableServiceAccountKeyCreation」と入力して表示されるもの をクリックし、一覧内に表示される**Disable service account key creation** の右側にあるメニューから**ポリシーの編集**をクリックします。



16.ポリシーのソースを親のポリシーをオーバーライドするに変更し、下に表示される ルールの追加を押下します。

サービス アカウント キーの作成を無効化 このブール型制約が True に設定されているサービス アカウントの外部キーの作成が無 効になります。デフォルトでは、ユーザーは Cloud IAM のロールと権限に基づいてサー ビスアカウントの外部キーを作成できます。
対象 プロジェクト
ポリシーのソース 創のポリシーを継承する Googleで管理されるデフォルト値 創のポリシーをオーバーライドする
ルール ルールは、組織のポリシーの制約によって運用される値を定義します。ブール型制約の 場合は、制約の運用のオンとオフを設定できます。リスト型制約の場合は、ポリシーに よって許可または把きたれる値のリストを作成したり、すべての値を把否または許可す るような運用を設定したりできます。
「余件を追加」をクリックして、タグに基づいてルールを条件付きにすることができます。これにより、組織のポリシーの適用を細かく調整できます。ポリシーの条件の詳細 をご覧ください」で。
 組織ポリシーには少なくとも1つのルールが必要です。
ルールの追加

17.適用をオフを選択した状態で、ポリシーを設定ボタンをクリックします。設定した組織 下のプロジェクトでサービスアカウントキーの発行が可能となります。

▲ ルールの編集	ĩ
適用 〇 オン ④ オフ	
条件を追加	完了
ルートの追加	

18.サービスアカウント画面の+サービス アカウントを作成をクリックします。

≡	Google Cloud	•	My Project 16325 💌		スラッシュ (/) を使用してリソース、ドキュメント、プロ				
0	IAM と管理		サービス アカウント	+ サービス	アカウントを作成	盲 削除	◆皇 アクセスを管理	C更新	
÷ <u>e</u>	IAM		プロジェクト「My Project 16325」のサービスアカウント						

19.サービスアカウントの作成画面のサービスアカウントの詳細で任意のサービス アカウ ント名とサービス アカウントの説明を入力し、作成して続行ボタンをクリックします。

サービス アカウントの作成
 サービス アカウントの詳細 サービス アカウント名* ICCS
このサービスアカワントDを示否 サービスアカワントD・ iccs399 @iccs202112.iam.gserviceaccount.com X C
 サービスアカウントの説明 ICCS用サービスアカウント ごのサービスアカウントで行うことを説明します
作成して続行
このサービス アカウントにプロジェクトへのアクセスを許可する (省略可)
□ ユーザーにこのサービス アカウントへのアクセスを ③ 許可 (省略可)
完了 キャンセル

20. このサービスアカウントにプロジェクトへのアクセスを許可する>Project の ロールをオーナーに設定し、完了ボタンをクリックします。(※項目3の設定は不要で す)

サービス アカウントの詳細 □ □	
このサービス アカウントにプロジェクトへの〕 スを許可する (省略可)	
このサービス アカウントに My Project 16325 へのアクセス権を付与し ェクト内のリソースに対する特定のアクションを完了する権限を付与し 細 ²	
□-ルを選択 IAM の条件(省略可) ■ フィルタ フィルタ テキストを入力	
Monitoring Ops 構成のモニタ リング オーナー	
Project 閲覧者 Proximity Beacon 参照者	
● Pub/Sub 編集者 Pub/Sub Lite	
完了 Rapid Migration Assessment	 ユーザーにこのサービス アカウントへのアクセスを 3 許可 (省略可)
ロールを管理	完了キャンセル

21.サービスアカウント画面から作成したサービス アカウントのメールのメールアドレス をクリックし、設定画面へ移動します。

θ	IAM と管理	サービ	スアカウント	+ サービス アカウントを作成	盲 削除	+皇 アクセスを管理	€更新
÷ <u>#</u>	IAM	プロジ	ジェクト「My Proje	ect 16325」のサービス アカウ	ウント		
Θ	ID と組織	サービス	アカウントは Google Clou	d サービス ID(Compute Engine VM、App E	Engine アプリ、	Google 以外で実行される	こいるシステムなど
٩	ポリシーに関するトラブ	組織のポリ ポリシー(リシーを使用してサービス の詳細をご覧ください。	アカウントを保護できます。IAM ロールの	自動付与、鍵の	作成やアップロード、サ	ービスアカウント
E,	ポリシー アナライザ						
	組織のポリシー	= 7	マイルタ ブロパティ名ま	たは値を入力	フテータフ	7 2前 🛧	1680
연코	サービス アカウント		diccs-769@intense-	petal-368906.iam.gserviceaccount.com	o	ICCS	iccs用サービス
	Workload Identity 連携						
۹	5~1						

22. 詳細設定をクリックし、OAuth クライアントを作成するには、OAuth 同意画面 を構成する必要があります。の下にある構成をクリックします。

詳細 権限 キー 指標 ログ	ドメイン全体の委任
サービス アカウントの詳細 (G在)	ドメイン全体の委任によって相場のデータへのアクセス優をこのサービスアカワントに付きする場合には、注意定く行う必要があります、元に 反対には、サービスアカワントを繋がれたごお削除するか、Google Workspace 管理コンソールからアクセス優を削除します。 詳細
保存	クライアント ID: 110474497649856444661 🗳
х-л.	GOOGLE WORKSPACE 管理コンソールを表示に
-意の10	Google Workspace Marketplace OAuth クライアント Co 0Auth クライアントの作成は、Google Workspace Marketplace ドメ イン全体のインストールをサポートするために必要であり、慎重に使用
サービス アカウントのステータス アカウントを無効にすることによって、アカウントを削除することなくポリシーを保持できま す。	9 6必要があります。Google Workspace Marketplace Ia、Jロンエクト 内のすべての OAuth クライアントに権限を付与する場合があります。こ の操作を元に戻すには、サービスアカウントを無効にするか閉除するし かありません。
⊘アカウントは現在アクティブです	2748日
サービスアカウントの無効化	 OAuth クライアントを作成するには、OAuth 同意画面を構成する必要が あります。
詳細設定 🗸 🖌	相關の統
	▲ 詳細設定を非表示

23. OAuth 同意画面のUser Type で内部を選択し、作成ボタンをクリックします。

OAuth 同意画面
アブリをどのように構成および登録するか(ターゲット ユーザーを含む) を選択します。プロジェクトに関連付けることができるアブリは 1 つだけで す。
User Type ● 内部 ●
組織内のユーザーのみが使用できます。確認を受けるためにアプリを送 信する必要はありません。ユーザーの種類の詳細
○ 外部 @
Google アカウントを持つすべてのテストユーザーが使用できます。アプ リはテストモードで起動し、アプリを使用できるのは、テストユーザー のリストに追加されたユーザーに限られます。アプレを本着環境に移す 準備ができたら、アプリの確認が必要となる場合があります。ユーザー の種類の詳細
4 ¹ F5Å
Google の OAuth に関するご意見やご要望をお聞かせください。

24. OAuth 同意画面のアプリ情報でアプリ名に任意の名称、ユーザーサポートメールに任意のメールアドレス、デベロッパーの連絡先情報に任意のメールアドレス(例: 管理者のメールアドレス)を設定し、保存して次へボタンをクリックします。

アノワ豆砂の柵朱	
1 OAuth 同意画面 ― 2 スコープ ― 3 概要	
・ アプリ情報 ~の遠観は回惑画面に表示されるため、デベロッパーのコーザー情報とデベロッパー	~
D問い合わせ方法をエンドユーザーが把握できます。	
アプリ名* ICCS	
回恩を求めるアプリの名削	
ユーザーサポートメール* 任意のメールアドレス	-
ユーザーが何息に関して問い合わせるために使用	
アプリのロゴ 参照	2
ユーザーがアプリを認識できるように、同意画面に1 MB以下の画像をアップロードしま す。使用できる画像形式は、JPG、PNG、BMPです、最適な結果を得るには、ロゴを120 x120 ビクセルの正方形にすることをおすすめします。	
ディロッパーとユーザーを保護するために、Google では、OAuth を使用するアプリの 記録のドメインの使用を許可しています。同意画面では、次の情報がユーザーに表示 れます。	Dみ えさ
アプリケーションのホームページ	
アブリケーションのホームページ ホームページへのリンクをユーザーに提供します	
アプリケーションのホームページ ホームページへのリンクをユーザーに提供します 「アプリケーション」プライバミィーポリミューリン・ク	
アプリケーションのホームページ ホームページへのリンクをユーザーに提供します [アプリケーション プライバミー ポリシー] リンク 一般公頼のプライバシー ポリシーへのリンクをユーザーに提供します	
アプリケーションのホームページ ホームページへのリンクをユーザーに提供します (アプリケーションプライバシー ポリシー] リンク 一般公願のプライバシー ポリシーへのリンクをユーザーに提供します (アプリケーション利用規約) リンク	
アプリケーションのホームページ ホームページへのリンクをユーザーに提供します [アプリケーション プライバシー ポリシー] リンク 一般公園のプライバシー ポリシーへのリンクをユーザーに提供します [アプリケーション利用規約] リンク 一般公園の利用規約へのリンクをユーザーに提供します	
アプリケーションのホームページ ホームページへのリンクをユーザーに提供します 「アプリケーションプライバシーボリシー] リンク 一般公園のプライバシーボリシーへのリンクをユーザーに提供します 「アプリケーション利用規約」 リンク 一般公園の利用規約へのリンクをユーザーに提供します 系弦済みドメイン ●	
アプリケーションのホームページ ホームページへのリンクをユーザーに提供します アプリケーションプライバシーボリシー]リンク 一般公園のプライバシーボリシーへのリンクをユーザーに提供します [アプリケーション利用規約] リンク 一般公園の利用規約へのリンクをユーザーに提供します 発怒済みドメイン ② 場面面または OAuth クライアントの構成でドメインが使用されている場合は、ここで等時 まする必要があります。アプリの修成が必要な場合は、Google Search Console にアクセス、 に、ドメインが発展力をあるかどつかを確認してください。承認済みドメインの上限の受 とご覧ください。	
アプリケーションのホームページ ホームページへのリンクをユーザーに提供します [アプリケーションプライバシーポリシー] リンク 一般公園のプライバシーポリシーへのリンクをユーザーに提供します [アプリケーション利用規約] リンク 一般公園の利用規約へのリンクをユーザーに提供します な認済みドメイン @ 唱画面面をたは Okuth クライアントの構成でドメインが使用されている場合は、ここで類新 皆する必要があります、アプリの検証が必要な場合は、Google Search Console にアクセス とこ 覧ください、 本記済みドメインの上限の計 と覧ください、承認済みドメインの上限の計 と覧ください、承認済みドメインの上限の計	
アプリケーションのホームページ ホームページへのリンクをユーザーに提供します 「アプリケーションプライバシーボリシーへのリンクをユーザーに提供します 「アプリケーション利用規約」リンク 一般公園のガライバシーボリシーへのリンクをユーザーに提供します 「アプリケーション利用規約」リンク 一般公園の利用規約へのリンクをユーザーに提供します な認済みドメイン ② 電画画書たは OAuth クライアントの構成でドメインが使用されている場合は、ここで専編 等する参加があります、アプリの使活が必要な場合は、Google Search Console にアクヤス と、ドメインが承認済みであるかどうかを確認してください。承認済みドメインの上限のE とご覧ください。 + ドメインの追加 デベロッパーの連絡先情報	
アプリケーションのホームページ ホームページへのリンクをユーザーに提供します [アプリケーションプライバシーポリシーへのリンクをユーザーに提供します [アプリケーション利用規約] リンク 一般公園の利用規約へのリンクをユーザーに提供します (アプリケーション利用規約] リンク 一般公園の利用規約へのリンクをユーザーに提供します 年間高調査たは0.40kh クライアントの構成でドメインが使用されている場合は、ここで類称 皆する必要があります。アプリの検証が必要な場合は、Google Search Console にアクセス に、ドメインが発展演みであるかどうかを確認してください。承認演みドメインの上限の と覧くてだい、 ・ ドメインの違加 デペロッパ(一の)連絡先情報 メールアドレス ()	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一
アプリケーションのホームページ ホームページへのリンクをユーザーに提供します 「アプリケーションプライバシーボリシーへのリンクをユーザーに提供します 「アプリケーション利用規約」リンク 一般公園の利用規約へのリンクをユーザーに提供します な認済カドメイン ④ 警囲画書たは OAuh サライアントの構成でドメインが使用されている場合は、ここで等時 等する必要があのhtサライアントの構成でドメインが使用されている場合は、ここで等待 な認済カドメイン ④ 警囲画書たは OAuh サライアントの構成でドメインが使用されている場合は、ここで等時 まできない、 + ドメインの追加 デパにロッパーの連絡先情報 メールアドレス・ 【意のメールアドレス】 こ	

25. スコープ画面で保存して次へをクリックします。

アプリ登録の	編集	
🥑 OAuth 同意	画面 — 2 💈	スコープ — ③ 概要
スコープとは、 ープを定めるこ にある特定の租 になります。計	アプリのユーち とで、プロジェ 1類のプライベー ¹ 細	「ーに許可を求める権限を表します。スコ - クトからユーザーの Google アカウント - トなユーザーデータへのアクセスが可能
スコープを追加	または削除	
非機密のス	コープ	
API 🛧	範囲	ユーザー向けの説明
表示する行がす	ちりません	
)高いスコー コーブとは、ブラィ ^エ す。	プ ベートユーザーデータへのアクセスをリクエス
API 🛧	範囲	ユーザー向けの説明
表示する行がる	ちりません	
읍 制限付き	のスコープ	
制限付きのスコー するスコープです	-プとは、機密性の 「。	高いユーザーデータへのアクセスをリクエスト
API 🛧	範囲	ユーザー向けの説明
表示する行がま	ありません	
保存して次へ	キャンセル	

26. 概要画面でダッシュボードに戻るボタンをクリックします。



27. OAuth 同意画面が表示されたら、操作は終了です。

ICCS 🥜 アプ	リを編集						
ユーザーの種	類						
内部 💡							
外部へ							
OAuth レート	上限						
トークン付与レー	r 0						
トークン付与レー	トは、アプリ	リケーショ	ンで新想	7-#-3	を取得でき	ス速度	
を制限します。			> < 40.90	1) (d/ ALLON.	
を制限します。 現在の 1 日あたり 日あたりのトーク クンの上限を増や	のトークン校 ン付与レート <u>す</u>	オ与レート 〜は毎日リ	っの上限は セットさ	ユーワース 10,000 件 れます。 <u>1</u>	の付与 で 日あたり	す。1 <u>のトー</u>	
を制限します。 現在の1日あたり 日あたりのトーク クンの上限を増や 5分 ✔1日	のトークンや ン付与レート <u>す</u>	オ与レート ∽は毎日リ	の上限は セットさ	ユージーで 10,000 件 れます。 <u>1</u>	の付与 で 日あたり	す。1 <u>のトー</u>	
を制限します。 現在の1日あたり 日あたりのトーク クンの上限を増や 5分 ✔1日	のトークンゼ ン付与レート <u>す</u>	オ与レート ∽は毎日リ	の上限は セットさ	ユージーで 10,000 件 れます。 <u>1</u>	の付与 で 日あたり	す。1 <u>のトー</u>	— 10,001
を制限します。 現在の1日あたり 日あたりのトーク クンの上限を増や 5分 ✔1日	のトークンが ン付与レート <u>す</u>	t与レート ∖は毎日リ	の上限は セットさ	10,000 件 れます。 <u>1</u>	の付与 で 日あたり	す。1 <u>のトー</u>	- 10,001
を制限します。 現在の1日あたり 日あたりのトーク クンの上限を増や 5分 ✔1日	のトークンfi ン付与レート <u>す</u>	ナート オート は毎日リ savailable	・の上限は セットさ	10,000 件 れます。 <u>1</u>	の付与 で 日あたり ame.	す。1 <u>のトー</u>	— 10,001
を制限します。 現在の1日あたり 日あたりのトーク クンの上限を増や 5分 ✓1日	のトークン府 ン付与レート <u>す</u> No data is	t与レート くは毎日リ savaiiable l	・の上限(は セットさ)	10,000 件 1ます。 <u>1</u> xted time fr	の付与で 日あたり ame.	す。1 <u>のトー</u>	- 10,001 - 10,000 - 9,999
を制限します。 現在の1日あたり 日あたりのトーク クンの上限を増や 5分 く1日 18:00 21:00	のトークン作 ン付与レート す No data is	サラレート へは毎日リ savaiiable 1 3:00	の上限は セットさ for the select	10,000 件 比ます。 <u>1</u> cted time fr	の付与で 日あたり ame. 12:00	す。1 <u>クトー</u> 15:00	— 10,001 — 10,000 — 9,999

28. 再度、メニューからIAM と管理>サービス アカウントをクリックします。



29. サービスアカウント画面のOAuth2クライアントID から操作を選び、鍵を管理 をクリックします。



⚠注意

- OAuth2クライアントID の番号は、このあとの工程で使用しますので必ず番号を控 えてください。
 - 30. キータブの鍵を追加>新しい鍵を作成をクリックします。



31.秘密鍵の作成画面のキーのタイプでJSON を選択し、作成をクリックします。



32. JSON 形式の秘密鍵がダウンロードされます。



⚠注意

- 生成された秘密鍵は、InterCLASS[®] Console Supportの秘密鍵を初回ログイン時に登録していただくため、厳重に保管してください。
- 同じ鍵は、1度しかダウンロードできません。紛失した場合は、再作成する必要があります。

ドメイン全体の管理を委任する設定

- Chrome ウェブブラウザでGoogle 管理コンソール (<u>https://admin.google.com</u>)にアクセスします。
- 2. 特権管理者のアカウントでサインインします。
- 3. メインメニューをクリックします。



4. セキュリティ>アクセスとデータ管理>APIの制御をクリックします。

- 0	セキュリティ
	概要
	アラートセンター
•	
•	アクセスとデータ管理
•	アクセスとデータ管理 APIの制御
·	アクセスとデータ管理 APIの制御 クライアントサイドの暗 号化

5. API の制御画面でドメイン全体の委任>ドメイン全体の委任を管理をクリックしま す。

ドメイン全体の委任	
デベロッパーは、開発したウェブ アクセスを有効にできます。登録 トはユーザーデータにアクセスで	アプリケーションとその抱の API クライアントを Google に登録して、Gmail などの Google サービス内のデータへの されたこれらのクライアントを管理者が承認すると、個々のユーザーの同意またはパスワードがなくても、クライアン さるようになります。詳細
ドメイン全体の委任を管理	

6. ドメイン全体の委任画面で新しく追加をクリックします。



7. 新しいクライアントID を追加画面が表示されます。

新しいクライアント ID を追加	
クライアントル	
既存のクライアント ID を上書きする ❷	
OAuth スコープ(カンマ区切り)	
キャント	セル 承認

 クライアントID にGoogle Cloud Platform の設定の手順23.で表示したクライ アントID を入力し、OAuth スコープに下記の必要なスコープをカンマ区切りで全て 記述します。

■必要なスコープの一覧

```
https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.user,
https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.customer.readonly,
https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.group,
https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.userschema,
https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.userschema,
https://www.googleapis.com/auth/script.external_request,
https://www.googleapis.com/auth/classroom.courses,
https://www.googleapis.com/auth/classroom.rosters,
https://www.googleapis.com/auth/classroom.profile.emails,
https://www.googleapis.com/auth/classroom.profile.photos,
https://www.googleapis.com/auth/sqlservice,
https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.device.chromeos,
https://www.googleapis.com/auth/classroom.announcements.readonly,
https://www.googleapis.com/auth/classroom.announcements.readonly,
https://www.googleapis.com/auth/classroom.student-submissions.students.readonly
```

9. クライアントID とスコープを入力後、承認をクリックします。

新しいクライアント ID を追加
クライアントロ
既存のクライアント ID を上書きする ❷
OAuth スコープ(カンマ区切り)
キャンセル 承認

Google Classroom のデータアクセスの許可

1. メニュー>アプリ>Google Workspace >Classroom をクリックします。



2. Classroom の設定画面が開きます。

Classroom	サービスのステータス		オン (一部のユーザー)	Ý
ステータス オン (一部のユーザー)	全發設定 全部定之物約0億%。 時後の時間	88802047		×
	クラスをや城できるユーザー: 保留中および確認済み のすべての物辞	オン: 保護者に Classroom 債務へのアクセスを許可す る		
	クラスの設定 低のドメインのクラスへの参加を範疇します。			×
	クラスの設定 ロンドメーシロシスへの参加を開催します。 クラスがメンバーについて ドメインのクラスに参加できるユーザーすべてのユ ーザー、このドメインのユーザーガーが原できるクラス。 Google Workspace のご見色クラフス			×
	クラスの設定 のドインのラストの参加を登せます。 クラスのメンバービロルで ドメインのラストと解放できるユーザー「すべてのユ ーザー」とりドメインのユーザーが発展できるクラス・ Google Workgaser の仕様のクラス			ř
	クラスの設定 むかくべつなか、小市な安美しき、 クラスのメンパーにないて ドメンパクのスに発展であるコーチーマインなコ ーゲー、とのドメインにコージーが検討でありまう、 Cooper Houses の住意のラフス デークアンクロス 			* *

3. データアクセスをクリックします。



4. 適用する組織部門を選択し、ユーザーは、Google Classroom データへのアクセ スをアプリに許可することができます。にチェックを入れ、保存をクリックします。



QRコードログインの設定

QRコードを使ったChromebook へのログイン機能を有効にする場合は、Google 管理コンソールで以下の設定を適用します。

サードパーティのIDプロバイダを使用したシングルサインオンの設定

QRコードを使用したChromebook へのログインに必要な設定です。

⚠注意

- 本設定は、特権管理者アカウントで実施してください。
 - Chrome ウェブブラウザでGoogle 管理コンソール (<u>https://admin.google.com/</u>)にアクセスします。
 - 2. 特権管理者のアカウントでサインインします。
 - 3. メニュー>セキュリティ>認証>サードパーティのldPによるSSO をクリックします。



4. サードパーティのIDプロバイダ(IdP)によるシングルサインオン(SSO)画面が開き ます。

ュリティ > サードパーティの IdP による SSO					
ロ サードパーティの D プ	サードパーティの SSO プロファイル				
ロバイダ(IdP)による シングルサインオン	組織部門またはグループに割り当てることができる SSO ブロファイルは以下のとおりです。 <mark>SSO プロフ</mark>	SAML プロファイルを追加			
(880)	名前	種類	ステータス		
SSO を設定すると、ユーザーはサードパーティの IDP	Legacy SSO Profile	SAML	有効		
マロションして Google Workspace リーとスにアジゼ スできるようになります。詳細	Microsoft	OIDC BETA	システム プロファイル 🚯		
	SSO プロファイルの割り当ての管理				
	組織部門またはグループ向けの割り当てを表示、管理します。 詳細				
			管理		
	名前	種類	SSO プロファイル		
	チェル株式会社	組織部門	以前の SSO プロファイル		

5. SAML プロファイルを追加をクリックします。

サードパーティの SSO プロファイル	
組織部門またはグループに割り当てることができる SSO プロファイルは以下のとおりです。 <mark>SSO プロファイルの詳細</mark>	
	SAML プロファイルを追加

6. IdPの詳細ページの下部にある以前のSSOプロファイルの設定に移動をクリックしま す。 7. 以前の SSOプロファイルを有効にするにチェックを入れ、ログインページのURL と ログアウトページのURLに以下のURLを設定します。

a. ログインページのID

https://sso.interclasscloud.com:443/idp/SSORedirect/metaAlias /idp

b. ログアウトページのID

https://sso.interclasscloud.com:443/idp/SSORedirect/metaAlias /idp



8. ドメイン固有の発行元を使用にチェックを入れ、ネットワークマスクに1.1.1.1/32を 入力します。



9. 保存をクリックします。

⚠注意

 証明書ファイルの登録が必要な場合、Google 管理コンソールで証明書ファイルを登録します。証明書を求められる場合、次の手順で、InterCLASS[®] Console Supportから証明書を取得します。

- 10.Chrome ウェブブラウザでInterCLASS[®] Console Support (<u>https://cs.interclass.ip/</u>)にアクセスし、特権管理者アカウントでログインしま す。
- 11. アカウント名をクリックし、歯車アイコンをクリックします。



12.システム管理画面で証明書ダウンロードをクリックします。

システム管理	製品間連携			
20	A		5	<u>↓</u>
権限管理	QRコード情報移行	QRコードログイン 活用状況通知設定	サービスアカウント 登録	証明書ダウンロード
ユーザーの操作権限を設 定・解除します。	QRコードナンバーをデー タベースで扱う方式に変 更します。	QRコードログインの活用 状況を通知するユーザー を設定します。	サービスアカウントを登 録します。	QRコードログインの設定 に用いる証明書をダウン ロードします。

13.ICCSCert.zipがダウンロードされます。

14.Google 管理コンソールに戻り、サードパーティのIDプロバイダを使用したシングル サインオン(SSO)の設定画面で確認用の証明書の証明書をアップロードをクリックし ます。



15.システムの管理画面からダウンロードしたICCSCert.zipファイルを事前に展開して おき、ICCScert.txtを選択し、開きます。



16.証明書がアップロードされると下記の表示になります。

^{確認用の証明書} 証明書ファイルをアップロードしました。 <mark>証明書を更新</mark>
証明書ファイルには、Google がログイン リクエストを確認するための 公開鍵が含まれている必要があります。 詳細

17.未保存の変更の表示で保存をクリックします。

QRコードログインを適用するChrome デバイスを特定の組織部門に移動

特定の組織部門に所属するChrome デバイスに対してのみQRコードログイン機能を有効 にする場合は、デバイスの設定を特定の組織部門に適用するため、Google 管理コンソール に登録したChrome デバイスを対象の組織部門に移動します。

⚠注意

- 本設定は、特権管理者アカウントで実施してください。
- 既にChrome デバイスを組織部門にわけて管理している場合は、設定変更の必要は ありません。

⑧ポイント

 組織部門はユーザー用とデバイス用に分けて作成することを推奨します。これにより デバイスとユーザーのポリシーを別々に管理することができます。 詳しくは、以下のGoogle Workspace 管理者ヘルプ>ユーザー別にポリシーを 適用するをご参照ください。

(組織部門の作成例)



※最適なユーザー・デバイスの組織部門の構成は、学校や教育委員会の規模や運用方法 によって異なります。

- Chrome ウェブブラウザでGoogle 管理コンソール (<u>https://admin.google.com/</u>)にアクセスします。
- 2. 特権管理者のアカウントでサインインします。
- 3. メニュー>デバイス>Chrome >デバイスをクリックします。

Admin
▲ ホーム
リー ダッシュボード
 ・ 名 ディレクトリ
- 🖬 デバイス
概要
✓ Chrome
セットアップ ガイド
デバイス

4. Chrome デバイスの一覧画面でQRコードログインを有効にするChrome デバイ スにチェックを入れ、選択します。



5. 操作コマンドの移動をクリックします。



6. デバイスの移動画面で移動先の組織部門を選択し、移動をクリックします。

3台のデバイスの移動	
移動先を選択してください	
組織部門を検索	
▼ チエル市教育委員会	
▶ ◎ユーザ	
▶ ◎端末	
▶ ○小学校	
▶ ○中学校	
	キャンセル 移動

7. 選択したデバイスが移動先の組織部門に移動します。

Chrome デバイスの設定の変更

QRコードログイン機能を利用するChrome デバイスが含まれる組織部門のデバイスの設定を変更します。

▲注意

- 本設定は、特権管理者アカウントで実施してください。
 - Chrome ウェブブラウザでGoogle 管理コンソール (<u>https://admin.google.com/</u>)にアクセスします。
 - 9. 特権管理者のアカウントでサインインします。

10.メニュー>デバイス>Chrome >設定をクリックします。

Admin
▲ ホーム
₽ ダッシュボード
・ 名 ディレクトリ
・ п デバイス
概要
✓ Chrome
セットアップ ガイド
デバイス
デバイス 登録トークン
デバイス 登録トークン 管理対象ブラウザ
デバイス 登録トークン 管理対象ブラウザ 設定

11. デバイスの設定タブを選択します。

ユーザーとブラウザの設定	デバイスの設定	管理対象ゲストセッションの設定

12.組織部門のツリーからQRコードログインを有効にするChrome デバイスが含まれる 組織部門を選択します。



⑧ポイント

 QRコードログイン機能を特定のChromebookのみに有効にする場合は、対象の Chrome デバイスを特定の組織部門に移動します。詳細は、QRコードログインを適 用するChromeデバイスを特定の組織部門に移動をご参照ください。

13.ログイン設定の項目に移動します。

≡ ○	Admin Q、ユーザー、グル デバイス > Chrome > 設定	レープ、設定を検索			Ą 8	? ₩ 🔺
	設定 ・ 	ユーザーとブラウザの設定 表示:すべて (+ フィルタを	デバイスの! 追加、または検索	92 	管理対象ゲスト セッシ	a ンの設定 ① 最近の変更点
+ 0	組織部門を検索 → チェル市教育委員会	設定 ゲストモード	設定 ゲストモードを許可する	継承 ローカルに適用	サポート対象	5
С н.	 ・ ○ユーザ > ○端末 ・ ○小学校 	ログインの制限	2件のサブ設定 2件のサブ設定	Google のデフォルト		5
@ •	 > ○中学校 > CHIeru QA CHIeru 開発 	ログイン画面	ユーザー名と写真を表示しな い	ローカルに適用		5
٥	> CHIeru 技術SE Chromebook+	デバイスの管理外時間 デバイスの壁紙画像	以前のビューで編集☑	Google のデフォルト ローカルに適用		5
	 Chromebook活用ハック開発用 → del1 hoge 	ユーザー データ シングル サインオン ID プロ	ローカル ユーザー データを 消去しない	Google のデフォルト		5

14.ゲストモードの設定をゲストモードを無効にするに変更します。



15.ドメインの予測入力の設定をログイン時のオートコンプリート機能に、以下のドメイン 名を使用するに変更し、ドメインのプレフィックスの予測入力にお客様のドメイン名を 入力します。



16.ログイン画面の設定をユーザー名と写真を表示しないに変更します。



17.シングル サインオン ID プロバイダ(IdP)のリダイレクトの設定をSAML SSO IdP ページへの移動をユーザーに許可するに変更します。



18.カメラへのシングルサインオンアクセスが可能なURLの設定に https://sso.interclasscloud.com を入力します。

28	デバイスに SAML SSO が設定されて	ている必要があります。 ChromeOS デバイスに SAML シングル サインオンを設定するをご覧ください。
۹ (>	重要:管理者がこのポリシーを有効 可すると、システムからエンドユー	にすると、ユーザーの代わりにユーザーのカメラへのアクセスをサードパーティに許可することになります。このポリシーでカメラへのアクセスを許 ・ザーに対して許可の回喜を求めることがないため、管理者は透切な同意書を用意しておく必要があります。
	SAML シングル サインオン(SSO) うと、サードバーティの ID プロバ・	フローの処理中にユーザーのカメラに直接アクセスすることが許可されている、サードパーティのアプリまたはサービスを指定します。この阅定を行 イダ(ldP)は ChromeOS デバイスに新しい形の認証フローを提供できます。
+	IdP を許可リストに追加するには、	各サービスの URL を 1 行に 1 つずつ入力します。
0	組織での Clever Badges のセットア	アップについて詳しくは、 <u>Clever のサポートサイト</u> をご確認ください。
Т	Chromium 名 LoginVideoCaptureAllowedUrls IZ	サポート対象 Chrome05 パージョン 52 以降
a	継承	ローカルご説明 マ
€ ≏	設定	カメラへのシングル サインオン アクセスが可能な URL https://sso.interclasscioud.com
		智浩: このポリシーを有効にすると、ユーザーのカメラへのアクセスを、ユーザーに代わってサードパーティに許可することになります。シングルサインオンとカメラ へのアクセスの許可について詳しくは、ヘルプセンター記事をご覧ください。

Chromebook のログイン画面を確認

上記の設定が全て正常に適用されると、対象のChromebookのログイン画面が変更され、QRコードを使用したChromebookへのログインができるようになります。 ログイン画面は以下のように変わります。



デバイスのレポート設定

デバイス管理画面でバッテリー状態とネットワークレポートの表示を行う場合は、Google 管理コンソールで以下の設定を適用します。

- Chrome ウェブブラウザでGoogle 管理コンソール (<u>https://admin.google.com</u>)にアクセスします。
- 2. 特権管理者のアカウントでサインインします。
- 3. メインメニューをクリックします。



4. デバイス>Chrome>設定をクリックします。



5. デバイスの設定タブを選択します。

|--|

6. ユーザーとデバイスのレポートに移動し、デバイスのテレメトリーを報告をクリックします。

	ユーザーとブラウザの設定	デバィ	「スの設定	管理対象ゲスト セッションの設定	
	表示: すべて + フィルタを追加、ま	たは検索		④ 最近0	の変更点
•	ユーザーとデバイスのレポート				
	設定	設定	継承	サポート対象	
	デバイスの OS 情報を報告	2件のサブ設定	Google のデフォルト	🛄 🎯 🚈 ios	
	デバイスのハードウェア情報を報告	2件のサブ設定	Google のデフォルト	🛄 🎯 🚈 i05	
	デバイスのテレメトリーを報告	2 件のサブ設定	チエル株式会社	🛄 🌀 🚈 ios	
	デバイスのユーザーの追跡を報告	最近のユーザーの追跡を有効にする	る Google のデフォルト	🛄 🎯 🚈 i05	

7. 組織部門のツリーからレポートを取得するChrome デバイスが含まれる組織部門を 選択します。



8. 設定からカスタマイズを選択し、ネットワークのステータスと電力のステータスに チェックを入れます。

設定	カスタマイズ	•	
	 ハードウェアのステ ータス(サポート終 了) 	ネットワーク イン ダーフェース(サポ ート終了)	ボ <mark>✓</mark> ネットワークの設定 <mark>▼</mark> ネットワークのステ □ ネットワークイベ ータス ント
	デバイスのアクティ ビティのステータス	🗹 電力のステータス	ズトレージのステー タス ズトレージのステータス ✓ CPU のステータス
	グラフィックスのス テータス	🗹 音声のステータス	□ クラッシュ情報 ✓ メモリのステータス □ パックライトのステ ータス
	Bluetooth のステー タス	□ ファンのステータス	ス □ ログイン/ログアウ □ CRD セッション □ セキュリティ ステ トのステータス □ CRD セッション □ -タス
	USB 周辺機器のス テータス	デバイスのアクティ ビティのハートビー ト	「 - 」 デバイスのランタイ - 」 ム カウンタ

9. 保存ボタンをクリックします。



InterCLASS[®] Console Supportの起動と終 了

InterCLASS[®] Console Supportへアクセスし、特権管理者アカウントでログインします。

InterCLASS® Console Supportへログイン

- Chrome ウェブブラウザで新しいタブを開き、InterCLASS[®] Console Support(<u>https://cs.interclass.jp/</u>)にアクセスします。
- 2. Sign in with Google ボタンをクリックします。



3. Google にログイン画面が表示されます。管理者のメールアドレスを入力し、次へボ タンをクリックします。

Google (ロクイン	
	ログイ 「	ン 」 に移動
	アドレスまたは電話番号 -	
メールア 続行する ドレス、 と共有し	パレスを忘れた場合 にあたり、Google は 言語設定、プロフィ− ,ます。	あなたの名前、メールア - ル写真を chierudev.info
アカウン	トを作成	次へ

4. パスワードを入力し、次へボタンをクリックします。



5. InterCLASS[®] Console Supportのトップページが表示されます。



InterCLASS[®] Console Supportからログアウト

InterCLASS[®] Console Supportからログアウトする際はアカウント名をクリックし、ロ グアウトをクリックします。



システム管理の設定

InterCLASS[®] Console Supportのシステム管理は特権管理者としてログインし、システム管理のため初期設定を行います。システム管理では、権限管理、QRコード情報移行、QRコードログイン活用状況通知設定、サービスアカウント登録、証明書ダウンロードが行えます。

システム管理を開く

1. InterCLASS[®] Console Supportの**アカウント名**をクリックし、設定アイコンをクリックします。



2. システム管理画面が開きます。



サービスアカウント登録

GCP(Google Cloud Platform)で作成したサービスアカウントの秘密鍵(.json)をアッ プロードします。この操作はInterCLASS[®] Console Supportの利用開始時に行いま す。

1. システム管理画面のサービスアカウント登録をクリックします。



2. サービスアカウント登録画面が開きます。

サービスアカウント登録
GCPで作成したサービスアカウントの秘密鍵をアップロードします。 登録状態: 未登録
インポートファイル: ファイルを選択 選択されていません
キャンセル アップロード

3. インポートファイルのファイルを選択ボタンをクリックします。



4. インポートファイルを選択すると次のようにファイル名が表示されます。



5. アップロードボタンをクリックします。



- 6. サービスアカウント登録画面をもう一度開きます。
- 7. サービスアカウント登録画面の登録状態が登録済みになっていることを確認してくだ さい。

サービスアカウント登録
GCPで作成したサービスアカウントの秘密鍵をアップロードします。 登録状態:登録済み
インポートファイル:ファイルを選択選択されていません
キャンセル アップロード

QRコード情報移行

InterCLASS[®] Console Supportで作成するQRコード情報の保存場所をGoogle の ユーザー情報からシステム内のデータベースに変更します。

1. システム管理画面からQRコード情報移行をクリックします。



2. QRコード情報の移行画面で、実行するボタンをクリックします。



▲注意

- 移行実行中は、QRコード利用状況の変更はできません。ただし、発行済みQRコードでのログインは、移行中もご利用いただけます。
- ドメイン内のユーザー数が多い場合、移行に時間がかかる場合があります。
 - 3. QRコードナンバーの移行が完了しました。と表示されたら閉じるボタンをクリックして終了します。

QRコードナンバーの移行が完了しました。	
	閉じる

③ポイント

•

• 移行実行中に再度QRコード情報移行をクリックすると以下のようなダイアログが開き、中止するボタンをクリックすると実行中の移行を中止することができます。

	QRコード情報の移行	
	2023/6/16 16:29に実行したQRコードの移行が完了していません。 新たに移行を実行するため、過去の移行処理を中止しますか?	
	キャンセル 中止する	
移行完了後は、(QRコード情報移行をクリックしても処理は発生しませ	±ω

QRコード情報の移行
QRコード情報は既に移行済みです。
間じる

サービスアカウントを利用する場合、InterCLASS[®] Console Supportに利用申請時に 記載した特権管理者でログインし、権限管理の設定を行います。詳しくは、InterCLASS[®] Console Support 操作マニュアルをご参照ください。



権限管理の内部データを移行する

InterCLASS[®] Console Supportをv2.4からご利用いただいている場合は、v4.0のご利用にあたり、権限管理の内部データ移行作業が必要です。

⚠注意

 最新バージョンへの移行が完了していない場合、「お客様の組織は最新バージョンへの 移行が完了しておりません。上記リンクからVer.2にサインインしてください。」とメッ セージが表示されます。

作成済みの権限情報を移行する

▲注意

- 本設定は、特権管理者アカウントで実施してください。
 - 1. InterCLASS[®] Console Supportヘアクセスし、Sign in with Google ボタン をクリックします。特権管理者のアカウントでログインします。



2. アカウント名をクリックし、歯車アイコンをクリックします。



3. システム管理画面を開きます。権限管理をクリックします。



4. 権限管理画面を開くと、次のようなダイアログが開きます。移行するボタンをクリック します。



5. InterCLASS[®] Console Support側に存在している組織名が現在Google Workspace 側に存在しない場合、移行はできません。以下の画面が表示された場 合はエクスポートして閉じるボタンをクリックします。「権限管理の移行に成功しまし た。」が表示された場合は、手順10に進んでください。



- 6. エクスポートしたCSVファイルをテキストエディタまたは表計算ソフトで編集します。
- 7. 権限情報のインポートを行います。修正データをインポートボタンをクリックします。

v3.0以降での権限管	理のご利用には、内部デー	タの移行が必要となります。	
作成済みの権限情報	を移行してよろしいですか	?	
※移行時に「権限情報 こちらから「修正デ	内の対象組織部門に現在存在 ータをインポート」をクリッ	しない組織部門名が含まれています。」≀ クし、CSVをインポートしてください。	このメッセージが出た場合、

8. 権限情報のインポート画面でインポートファイルのファイルを選択ボタンをクリックし、 編集したCSVファイルを選択します。

権限情報のインポート	
各ユーザーの権限情報をC ※一度にインボートできる件 ※実行した操作はジョブに登 インボートファイル:	90時式でインボートします。 数は100件までとなります。 聞されます、進行状況は右上の通知または実行ジョブー発展面からご確認ください。 プライルを確認し、道訳されていません
テンプレート	**>th 1>15-

9. インポートファイルを選択するとプレビューが表示されます。内容を確認し、インポート ボタンをクリックします。

	ID	メールアドレス		対象組織	截部門			削除	対象	
ø	1			1						
ø	5									
ធ	200									
ß	135									
G	158									
ß	10							79183		
ø	11							79183		
G	147									
ß	13							削除		
ß	14									
7件中	中1件から10件まて	:表示 (37件選	R)		前へ	1	2	3	4	次^

10.権限情報のインポートが完了すると次の画面が表示されます。システム管理から権限 管理をご利用できます。



③ポイント

上記の警告文が表示された場合も、権限管理は利用できます。権限管理画面にて、対象組織部門が「削除済み」となっているユーザーに対し適切な対象組織部門を指定します。

InterCLASS[®] Filtering Service連携設定

InterCLASS[®] Filtering Serviceとの連携内容を設定します。

[®]ポイント

- 同期が実行された場合、InterCLASS[®] Filterring Serviceで同期対象となっている組織部門に所属しているユーザーが同期されます。
- 夜間定期同期設定のオン/オフを問わず、新規追加時の自動同期設定により、 InterCLASS[®] Console Supportでユーザーの追加や削除を行ったタイミングで ユーザーの同期を実行することができます。

⚠注意

- 本設定は、特権管理者アカウントで実施してください。
- 夜間定期同期をオフに設定し、自動同期で行わないを選択した場合、同期は行われません。
 - 1. InterCLASS[®] Console Supportヘアクセスし、Sign in with Google ボタン をクリックします。特権管理者のアカウントでログインします。



2. アカウント名をクリックし、歯車アイコンをクリックします。



3. システム管理画面が開きます。製品間連携タブに切り替え、InterCLASS[®] Filtering Service連携設定をクリックします。



4. 夜間定期同期のオン/オフを設定します。



③ポイント

• 本設定がオンとなっている場合、毎日0:00に同期が実行されます。

5. 新規追加時の自動同期の動作を設定します。

操作時の自動同期	追加/削除時にユーザーが選択して同期する	-
	同期しない	
	追加/削除時に自動で同期する	
	追加/削除時にユーザーが選択して同期する	

⑧ポイント

- 本設定により、夜間定期同期設定のオン/オフを問わず、InterCLASS[®] Console Supportでユーザーの追加や削除を行ったタイミングでユーザーの同期を実行する ことができます。
- ユーザーの追加・削除時のGoogle Workspaceへの反映時間を考慮し、本設定での 同期はユーザーの追加・削除を行った一定時間後に実行されます。
- 重複実行を防ぐため、同期の実行待機中に再度ユーザーの追加・削除が行われた場合は、最後に行われた操作の時間を起点に待機時間が更新されます。
- 自動同期を実行することができるユーザーは、ドメイン管理者または、権限管理画面 で対象組織部門に最上位の組織部門を設定したユーザーのみとなります。
 - 6. 保存ボタンをクリックします。



InterCLASS[®] Advance連携設定

InterCLASS[®] Advanceとの連携内容を設定します。

▲注意

- 本設定は、特権管理者アカウントで実施してください。
- 本項目は、InterCLASS[®] Advance version1.2リリース後に設定可能となります。
 - 1. InterCLASS[®] Console Supportヘアクセスし、Sign in with Google ボタン をクリックします。特権管理者のアカウントでログインします。



2. アカウント名をクリックし、歯車アイコンをクリックします。



3. システム管理画面が開きます。製品間連携タブに切り替え、InterCLASS[®] Advance連携設定をクリックします。



4. 手動同期機能の利用を設定し、保存ボタンをクリックします。

InterCLASS Advance	• 連携設定
連携先の組織ID	78
連携先の組織名	検証用_ICA
	※連携先製品のご契約組織ID・組織名と一致していることをご確認ください。
手動同期	利用する 💙
	キャンセル 保存

③ポイント

• 手動同期を実行することができるユーザーは、ドメイン管理者または、権限管理画面 で対象組織部門に最上位の組織部門を設定したユーザーのみとなります。

製品間連携 実行結果

各製品間連携の実行状況を確認できます。

⚠注意

- 本画面は、特権管理者アカウントでのみ確認可能です。
 - 1. InterCLASS[®] Console Supportヘアクセスし、Sign in with Google ボタン をクリックします。特権管理者のアカウントでログインします。



2. アカウント名をクリックし、歯車アイコンをクリックします。



3. 製品間連携画面から製品間連携実行結果をクリックします。



4. 製品間連携の実行結果が一覧で表示されます。

品間連携 実行結果											
	Q 🔒	τ ν	絞り込み					部分一致	文 、 詳	細 リセット	表示 10 ♀ 件
実行日時	†↓	終了日時	î↓	ステータス	î↓	連携製品	ţ†	内容	î↓	エラー	î↓
2025/01/03 00:00:08		2025/01/03 00:00:22		正常終了		InterCLASS Filtering Service		夜間定期同期			
2025/01/02 00:00:08		2025/01/02 00:00:21		正常終了		InterCLASS Filtering Service		夜間定期同期			
2025/01/01 00:00:08		2025/01/01 00:00:21		正常終了		InterCLASS Filtering Service		夜間定期同期			
2024/12/31 00:00:08		2024/12/31 00:00:21		正常終了		InterCLASS Filtering Service		夜間定期同期			
2024/12/30 00:00:08		2024/12/30 00:00:21		正常終了		InterCLASS Filtering Service		夜間定期同期			
2024/12/29 00:00:07		2024/12/29 00:00:20		正常終了		InterCLASS Filtering Service		夜間定期同期			
2024/12/28 16:36:17		2024/12/28 16:36:25		正常終了		InterCLASS Filtering Service		夜間定期同期			
2024/12/28 16:28:38		2024/12/28 16:28:47		正常終了		InterCLASS Filtering Service		自動同期			
2024/12/28 16:17:54		2024/12/28 16:18:06		正常終了		InterCLASS Filtering Service		自動同期			
2024/12/28 16:03:13		2024/12/28 16:03:19		中止		InterCLASS Filtering Service		自動同期		UNEXPECTED	D_ERROR
106 件中 31 件から 40	件まで表示							前へ 1	2	3 4 5	… 11 次へ

CHIeruサポートについて

下記サポートセンターまでお問い合わせください。

URL	https://support.chieru.net/
E-Mail	support@chieru.co.jp
TEL	03-5781-8110
FAX	03-6712-9461

【受付時間】

午前10時~正午、午後1時~午後5時 土曜日、日曜日、祝祭日および弊社指定休日は休業させていただきます。

InterCLASS[®] Console Support version4.0 操作マニュアル 設定編

2025年 2月 作成/発行/企画 チエル株式会社 〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー22F

※ 記載されている会社名及び商品名は、各社の商標もしくは登録商標です。

- 本書に掲載しているGoogle Workspace for Education 及び弊社製品の画面は、 2024年8月時点の画面です。ご利用をいただくタイミングによって、実際の画面とマニュアルの画面が異なる場合があります。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断で転載、あるいは複写することを禁じます。
- プリンターやアプリケーションによって一部違ったフォントで印刷、表示されることがあり ます。
- 本書の内容については万全を期して制作致しましたが、万一記載に誤りや不完全な点が ありましたらご容赦ください。

CHIeruチェル 株式会社

■本	社	〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー22F
		TEL: (03)6712-9721 FAX: (03)6712-9461
■札幌営業産	听	〒060-0062 北海道札幌市中央区南2条西9丁目1-2 サンケン札幌ビル6F
		TEL: (011)804-7170 FAX: (011)804-7171
■仙台営業所	䜣	〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町1-4-1 明治安田生命仙台ビル3F
		TEL: (022)217-2888 FAX: (022)206-5222
■首都圏営業所		〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー22F
		TEL: (03)6712-9471 FAX: (03)6712-9461
■名古屋営業	業所	〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-18-11 CK21広小路伏見ビル3F
		TEL: (052)857-0082 FAX: (052)857-0083
■大阪営業所	䜣	〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀1-5-11 KDX土佐堀ビル3F
		TEL: (06)6441-3677 FAX: (06)6441-3655
■広島営業所	Г	〒730-0011 広島県広島市中区基町11-10 合人社広島紙屋町ビル 8F-41
		TEL: (082)236-6077 FAX: (082)236-6078
■福岡営業府	听	〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2-4-17 第6岡部ビル5F
		TEL: (092)483-1603 FAX: (092)483-1604
■沖縄営業府	䜣	〒901-2127 沖縄県浦添市屋富祖一丁目6番3号 森ビル
		TEL: (098)943-0511 FAX: (098)943-0669

https://www.chieru.co.jp